

協育NEWS

「協育」という波紋を拡げます

会報誌第31号

2018年6月30日発行

発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネットワーク

会員みなさんへ

2018年度 NPO法人大分県『協育』アドバイザーネットワーク定期総会のご報告



会 場：別府市男女共同参画センターあすべっぴ 2階会議室
日 程：平成30年6月9日(土) 14:30～16:30



(中川代表理事)

2018年度定期総会は会員数25名・参加者14名・委任状11名で総会は成立致しました。定期総会の冒頭に中川代表理事よりNPO団体(大分県『協育』アドバイザーネットワーク)の活動主旨を話して頂きました。当団体は会員(社員)の皆さんが県内各地で様々な活動をするなかで会員同士が繋がり情報交換することでその活動が活性化し充実していく事を一つの事業と位置づけています。これから団体での委託事業などが出来た場合は会員の皆さんの日頃の活動のなかで培った知恵や経験を団体に協力して頂けるとありがたいです。

【会員研修】スキルアップ「語ろうよ会」初開催！

前回開催が雪のために延期になっていた『協育ネット』みんなで語ろうよ会を総会終了後に開催しました。協育ネット会員の皆さんは日頃いろんな分野で地域学校支援活動・読み聞かせ活動・障害者支援活動など精力的に動いています。その中で協育ネットのネットワークがどう関わり支援が出来るかなどを皆さんの活動を聞きながら話しました。お茶やコーヒー、お菓子をつまみながら和気あいあいに語り合う様子は これってなかなかいいじゃん。いろんな活動の情報交換は新しい発見があり自分の活動に活かせるヒントも見つかりました。印象に残ったのは自分の活動の為に NPO法人のネットワークを利用したい！とご意見を頂きました。理事や広報部からは会員の皆さんをもっと繋いで行こうと意見が出ました。



(第1回 語ろうよ会の様子)

第6回『子どもと本を結ぶあなたへ…』講演会のお知らせ

大分大学高等教育開発センター「協育」ネットワーク推進事業
NPO法人大分県「協育」アドバイザーネットワーク「協育」プログラム開発事業

日 時 2018年9月8日(土)

・受付 9:15～

・『図書館に児童室ができた日』学生による読み聞かせ 9:30～9:50

・講演会 9:50～12:00

・休憩 12:00～13:00

・交流会 13:00～14:00

場 所 大分大学旦野原キャンパス 教養教育棟1階 14号室

募集定員 講演会:100名 交流会:30名(学生別)

締 切 7月31日(火)(定員になり次第締め切り)

参 加 費 無料

申込方法

■申込フォーム(<http://www.he.oita-u.ac.jp/2018book>)からお申込み下さい。

読取バーコードからもアクセスできます。

(申込フォームから正しく送信された場合は、「申込完了通知」が自動で送信されます。

万が一「申込完了通知」が届かなかった場合は、下記問い合わせ先までご連絡願います。)

■下記申込書に記入の上、メール又は郵送でお申し込みいただく事も可能です。

申込先 〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学 教育支援課(公開講座担当) メール:kyokikss@oita-u.ac.jp

『子どもと本の幸せな出会いのために 私たちができること』

子ども時代の読書や留学体験、公共図書館や東京子ども図書館の活動とおして、感じてきたこと、願っていること



東京子ども図書館
理事長 張替恵子氏



(読み取りコード)

問合せ先 TEL:097-554-7641(大分大学教育支援課 公開講座担当)

※参考HP <http://www.he.oita-u.ac.jp/>
(大分大学高等教育開発センター)
<http://www.kyouiku-adviser.net>
(NPO法人大分県協育アドバイザーネットワーク)

主 催 大分大学高等教育開発センター
NPO法人大分県『協育』アドバイザーネットワーク
人と本を結ぶ読書支援プロジェクト「ゆい(結い)」

会員さんの活動紹介

今回は協育ネット副理事の園部さんから身辺雑記(コラム)が届きましたので2回に分けて紹介したいと思います。

園部 秀靖

大分県『協育』アドバイザーネット副理事



(園部 秀靖)

◇ 序章 人生の岐路に立つ

今、人生の岐路に立っている。進むべきか、退くべきか。今もいくつかの団体に所属しているが、役職を果たし難くなっている。ここにきて戦線を縮小するしかないのか。老化は必然。これからは老いていくのみ。いずれ社会に出て活動できない日がやってくる。改めて、「お前は、何を為したか」と問われると、これといったものは何もない。唯、興味と感心のおもむくままにあれこれと「中途半端に生きてきた」と言うしかない。「不惑」の齢はとっくに過ぎていくのに、これからどう生きればいいのか、大いに迷う。

◆ 通所リハビリ継続中

今も週二回、病院附属の通所リハビリを続けている。目標は、筋力をつけ歩行能力を向上させること。器具・道具を使った12種目の自主トレ・物理療法・理学療法士による治療等。いつも合うメンバーは様々。ほとんどの人は私より困難な状況で歯を食いしばって頑張っている。しかしながら、元には戻らないと言う。中には、フットワークはいいのに物の名前が出てこない人や、十年、二十年もリハビリを続けている人もいる。なってみて初めて知る世界。手指が動きにくく、足取りもままならない歯がゆさはあるが、客観的に見て、自分は比較的軽度ではないかと思えてくる。

◇ 米寿の方との出会いから十年計画を構想

唯、茶を飲みながらの対話の中で、わたしを勇気づける人との出会いがあったのだ。その方は、顔の色つやもよく、「米寿」を迎えたばかりとは思えない。ゴルフ球が頭に当たった事が遠因というのに、今もゴルフに行くと言う。企業の会長職で、今も自分が興した会社に顔を出している。将に現役。さすがは企業人、常に「先を見通して生きてきた」と言う。その時その時の状況に追われて生きてきた自分とは大いに違う。更には「嘘をつかない」ということも心に響いた。自分を飾らず本音で語るということか？人間関係づくりはお互いに「信頼」し合うことが大事、と今更ながら気づかされた。「生涯現役・一生徒」をモットーに「喜寿」の齢まで生きてきた自分。ここで一念発起。これからの「米寿」の年までの十年間、この方を目標に、健康に気をつけて元気に生きようと決意した。

◆ 生活記録をつけることから始める

正月元旦から、十年間構想の実践が始まった。健康生活の構築のため、実践項目を掲げ、日々記録に留めることにした。体力増進と食生活の改善。その主な内容と実践項目は次記の通り。項目 月日・天気・散歩(歩数)・体操(スロウジョギング・スクワップ等)・買い物(食材購入メモによる買い出し)・作業(除草・農作業など)・三食の食事メニュー・読書(書名等)・執筆・創作活動(書・陶芸・絵画等)・その日の生活記録(事実と感想の簡単メモ)

次回後半は、◇ 日々の散歩から見えてきたこと、◆ これからの展開「回顧録」を書く を紹介します。お楽しみに

第37回 中国・四国・九州地区 生涯教育実践研究交流会に参加して！



(福岡県立社会教育総合センター)



(分科会の様子)



(交流会の様子)

集い・学び・交わる 今年もここに帰ってきました。毎回思うのですが、協育ネット会員の皆さんにぜひ一度参加して頂きたい大会です。

○ 事業報告

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 第37回大会: 5/19(土)・20(日)

http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/jigyou/houkoku/h30/180519_jisen.html

今大会に協育ネット会員の赤峰友子さん、安達美和子事務局長が運営参加しました。大会前日の金曜日から会場入りして運営委員、発表者と打ち合わせ当日は分科会の司会進行の大役！お疲れ様でした～今回初めて運営参加されたお二人の感想を掲載します。

1st day AM 第3会場 司会 赤峰 友子

この交流会には何度も参加させて頂いていましたが、今回初めて分科会の司会・記録担当のスタッフとして前日から参加をしました。到着すると皆さんが笑顔で迎えてくださり、緊張もほぐれ安堵しました。前日の交流会は少人数でもあり、他県の多方面でご活躍の皆さん方より深い交流・情報交換ができました。また、この会を長年支えてこられた諸先輩の皆様が「学び」に対して真摯に向かい合い、「学び」を大いに楽しんでおられる姿に大変感銘を受けました。素晴らしい時間を共有できましたこと、貴重な経験をさせて頂きましたことに心より感謝しております。来年また皆さんにお会いできますこと、今から楽しみです。

1st day PM 第1会場 司会 安達 美和子

第1分科会の午後の部は、4つの実践事例の発表がありました。私は初めての分科会進行役でしたが、鳥取県飯南町教育委員会派遣社会教育主事の川上壮先生に助けられ、会場の進行管理等、運営する側としての貴重な経験をさせていただきました。事例の中で、公民館のセミナーの受講生が、学びから、起業家としてマルシェの(商店)の出店者に育ち、公民館に来館することの少ない若い世代の女性が集うという取組や台風災害・少子高齢化により10年前に途絶えた夏祭りを復活させた宮崎県椎葉村青年団協議会の取組には、驚きました。若い世代から励まされたような気持になりました。

広報部よりお知らせ

2018年度の事業計画案も総会で承認され新しい活動が始まります。協育ネット広報部もこれまで以上にネットワーク拡大に努めてまいります。今年度も精力的に会員の皆さまの元へ取材に行きます、新しい情報を収集しHPやFacebookで情報提供していきますのでよろしくお願い致します。(上原)



協育ネットHPを
ときどきのぞいてね!

